



那覇市

広報

市民の友

第804号毎月1日発行
2018年(平成30年)

1月

市の人ロと世帯
※()内はうち外国人
2017(平成29)年11月末現在
総人口 323,365(4,370)
男 156,740(2,408)
女 166,625(1,962)
世帯数 150,655(3,019)
住民基本台帳人口の内訳(外国人)

発行 那覇市
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷 丸正印刷株式会社
配布 那覇市シルバー人材センター



比嘉聰さん 「和」を大切に自己主張する

市在住の比嘉聰さん(65歳)が、2017年度の国的重要無形文化財「組踊音楽太鼓」保持者(人間国宝)に認定されました。

組踊音楽太鼓は、沖縄の伝統芸能である組踊のなかで立方(演技者)の動きにきっかけを与えたり、感情や物語の展開を表現したりします。

比嘉さんは、曲趣を的確に捉え、端正で抑制のきいた演奏、また沖縄県立芸術大学教授を務めるなど後進の育成にも貢献していることが評価されました。師匠である故島袋光史さんに続き、師弟で人間国宝となった比嘉さんにお話を伺いました。

私が太鼓を始めたのは大学1年生の時。琉球大学の郷土芸能研究クラブで太鼓演奏を見たのがきっかけでした。太鼓は1人で打つものだと思っていた私は初めて見る合奏に驚き、同時に大きな感銘を受けました。太鼓は打てば鳴る単純な楽器ですが、その音には人を惹きつける魅力があります。

2年生になって島袋光史先生に太鼓を習い始めると、舞台上での太鼓の役割や立方とのかかわり合いなどを、先生の太鼓持ちをしながら体で感じ取っていました。太鼓は他の楽器と違音階はありませんが、情景描写が求められます。緩急や強弱で表現しなければならないところがとても難しいです。自己主張は必要だと思います。地謡(歌三線、箏、太鼓、笛、胡弓)は全体のバランスを崩さず、前へ出すぎず、「和」を大切にしながら音を奏でることを心がけています。

先生の教えからいろいろなことを学び、多くの経験を積んできました。人に厳しく自分に厳しく、何事を行うにも真剣に取り組みなさいとおつしやっていました。その考えは、いま私が後輩に教えるうえでも活かされています。

私が太鼓を始めたのは大学1年生の時。琉球大学の郷土芸能研究クラブで太鼓演奏を見たのがきっかけでした。太鼓は1人で打つものだと思っていた私は初めて見る合奏に驚き、同時に大きな感銘を受けました。太鼓は打てば鳴る単純な楽器ですが、その音には人を惹きつける魅力があります。

2年生になって島袋光史先生に太鼓を習い始めると、舞台上での太鼓の役割や立方とのかかわり合いなどを、先生の太鼓持ちをしながら体で感じ取っていました。太鼓は他の楽器と違音階はありませんが、情景描写が求められます。緩急や強弱で表現しなければならないところがとても難しいです。自己主張は必要だと思います。地謡(歌三線、箏、太鼓、笛、胡弓)は全体のバランスを崩さず、前へ出すぎず、「和」を大切にしながら音を奏でることを心がけています。

子どもたちが伝統芸能に興味を持つには、様々な角度からのアプローチが必要です。那覇市が建設予定の新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)も、子どもたちが気軽に沖縄の芸能や文化に触れられる場所であってほしいで

すね。いつも側にあることへの愛着がある子どもたちが気軽に沖縄の芸能や文化に触れられる場所であってほしいであります。この目標達成に欠かせないか模索しているところです。

幼い頃から伝統芸能に親しむ

子どもの時、祖母や父が自宅で三線を弾いていました。大学時代にクラブの門をたたいたのも、記憶に残るその門をたたいたのも、記憶に残るその音に引き寄せられたからでしょう。幼い頃から伝統芸能に親しむ環境があると自然と関心が向くのではないで

しょうか。伝統芸能をより身近に感じてもらうための取り組みとして、国立劇場おきなわでは「親子のための組踊鑑賞教室」の開催や、若手実演家によるワークショップなどを行っています。

私自身としては、小学生くらいの子どもたちが直接太鼓に触れる機会が作れないかと考えています。太鼓を揃えたり、場所を確保したりといった課題がありますが、どのような方法があるか模索しているところです。

子どもたちが伝統芸能に興味を持つには、様々な角度からのアプローチが必要です。那覇市が建設予定の新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)も、子どもたちが気軽に沖縄の芸能や文化に触れられる場所であってほしいであります。この目標達成に欠かせないか模索しているところです。



師匠の背中を追いかけて



1952年、旧久志村(現名護市)生まれ。1972年、太鼓を島袋光史氏、歌三線を棚原忠徳氏に師事。2000年、沖縄県立芸術大学教授を務める。同年重要無形文化財「組踊」(総合認定保持者)、沖縄伝統舞踊(保持者)、2017年「組踊音楽太鼓(人間国宝)」(総合認定保持者)、2015年からは「琉球舞踊」(総合認定保持者)。

主な紙面

観光資源としてのマチグワー

あけまして
おめでとう
ございます



今年も
ゆたかるぐどう
うにげーさびら
(今年もよろしくお願いいたします)

那覇市長
城間幹子

- 人間国宝 比嘉聰さん「和」を大切に自己主張する / 新春あいさつ
- なはし何でもTOP3 / なはまちスタンプウォーク / 償却資産の申告
- 臨時幼稚園教諭・保育教諭・保育士募集 / 市営住宅入居者募集
- 情報パック
- 博物館トピックス / ニュースダイジェスト
- 4~7
- 3~2